

Asahi「ディスクロージャー優良企業」W受賞に寄せて

アサヒグループホールディングス株式会社 理事 IR部門ゼネラルマネジャー 石 坂 修

当社は「平成29年度ディスクロージャー優良企業選定」において、食品部門および個人投資家向け情報提供における優良企業に選定されました。食品部門での受賞は13回目となり、経営トップが企業価値向上に向けて積極的な対話に努めている姿勢などに対して、アナリストの皆様から継続してご評価を頂けているものと認識しています。また個人投資家向け情報提供での受賞も4回目となり、継続的に個人投資家向け説明会に取り組んでいることや、ホームページ・事業報告書などを通じて、事業環境や経営戦略を分かりやすく説明していることなどにご評価を頂いており、併せて大変光栄に受け止めています。

2014年以降の日本版スチュワードシップ・コードやコーポレートガバナンス・コードの導入などに合わせて、企業の経営スタイルやアナリスト・投資家の皆様の視点は、より持続的な成長や中長期的な企業価値の向上にシフトしてきており、特にショートターミズムの是正は着実に進んでいると感じています。また今後は、「フェア・ディスクロージャー・ルール」の導入を契機として、より公平かつ適時の情報開示の促進など、企業とアナリスト・投資家の皆様との対話は更に進化していくことが求められています。

当社はこうした流れに基づいて、10年程度先を見据えた事業の将来像を付加して「長期ビジョン」を更新すると共に、従来の「中期経営計画」

については「中期経営方針」として改め、これまでどちらかと言えばアクションプラン型であった内容から、中期的な経営の方向性に重点を置いた形式に移行しています。また、統合報告書の充実などに取り組みながら、「長期ビジョン」や「中期経営方針」をステークホルダーとのエンゲージメント・アジェンダとして、より中長期的な視点での対話に努めています。

一方で当社は、従来の延長線上ではない海外の大型買収を実行するなど、今後は国内外での建設的な対話を深めながら、新たなステージに立った成長ストーリーの構築とその実現が求められています。また「中期経営方針」の重点課題のひとつであるESGへの取り組みについても、企業価値向上とのリンクを深めると共に、その情報開示をより充実していく必要があると考えています。

こうした課題認識を踏まえ、アナリスト・投資家の皆様には、引き続き国内外の幅広い知見に基づいて、従来以上に中長期的な視点に立ったご指摘やご示唆をいただければ幸いです。今回の受賞を励みとして、当社としても情報開示の萎縮や対話機会の縮小ではない、より進化したフェア・ディスクローズを追求しながら、“企業価値向上経営”の深化に取り組んでいく方針ですので、引き続きご指導を頂きますようよろしくお願い申し上げます。